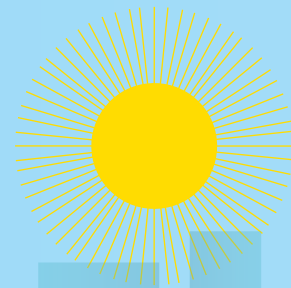


株主通信 Vol.5

ゆうちょ銀行VISION

2018年3月期（2017年4月1日▶2018年3月31日）



JP ゆうちょ銀行
BANK

証券コード：7182

経営理念

お客様の声を明日への羅針盤とする
「最も身近で信頼される銀行」を目指します。

信頼

法令等を遵守し、お客さまを始め、市場、株主、社員との信頼、社会への貢献を大切にします

変革

お客様の声・環境の変化に応じ、経営・業務の変革に真摯に取り組んでいきます

効率

お客さま志向の商品・サービスを追求し、スピードと効率性の向上に努めます

専門性

お客様の期待に応えるサービスを目指し、不断に専門性の向上を図ります

CONTENTS

P 3	トップメッセージ
P 5	ゆうちょ銀行 TOPICS
P 7	特集
P11	決算ハイライト
P13	株主スクエア／株主メモ
P14	会社・株式情報
裏表紙	配当について

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。当行の今後の取り組みなどについてご説明させていただきます。

株式会社ゆうちょ銀行
取締役兼代表執行役社長

池田 素人



トップメッセージ

2017年度の業績と取り組み

2017年度は、当行の強みを有する分野での業務に特化することを企図し、「お客さま本位の良質な金融サービスの提供」「地域への資金の循環等」「運用の高度化・多様化」という3点を軸に取り組んでまいりました。

その結果2017年度の業績は、連結経常利益4,996億円、親会社株主に帰属する当期純利益3,527億円となり、期末配当は1株当たり25円、中間配当と合わせて年間の配当は50円とさせていただきます。

「お客さま本位の良質な金融サービスの提供」では、資産形成のサポートや決済サービスの拡充などに努め、「地域への資金の循環等」ではお客さまの

大切な資金を地域に循環するために、地域金融機関との連携を通じて、2017年度においても複数のファンドへの出資を決定いたしました。

「運用の高度化・多様化」では、国内の低金利環境が継続する中、外国証券投資を拡大しました。また、プライベートエクイティファンド、不動産ファンド、ヘッジファンドなどのオルタナティブ投資の着実な積上げを進めました。さらに2018年2月には、プライベートエクイティファンドの運用を行うJPインベストメント株式会社をかんぽ生命とともに設立いたしました。今後も、長期安定的に収益が確保できるポートフォリオの構築を目指してまいります。

新たな中期経営計画の策定および2018年度業績予想

当行は2018年5月に「『やっぱり、ゆうちょ』と言われることを、もっと。」をスローガンとする新たな中期経営計画を策定しました。

お客さまへの「新しいべんり」「安心」の提供、

資本の有効活用による国際分散投資の推進および国内産業へのリスクマネー供給、地域経済の活性化を通じた日本経済発展への貢献、を将来に展望し、各種施策に取り組んでまいります。

郵便局ネットワークを通じて、全国の幅広いお客さま、小さなお子さまからご高齢の方まで、お一人おひとりの人生をしっかりとサポートし、共に歩んで行くことで、ゆうちょ銀行としてのブランドを構築してまいります。

そして、初年度の2018年度は連結経常利益3,700億円、親会社株主に帰属する当期純利益

2,600億円と予想し、配当予想は中間25円・期末25円の計50円、予想配当性向は72.0%といたしました。

こうした当行の方向性と成長を国内外のステークホルダーの皆さまにしっかりとお伝えしてまいります。今後ともご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2020年度の計数目標

利益目標

- 経常利益(連結ベース)
⇒【20年度】3,900億円
- 当期純利益(連結ベース(当行帰属分))
⇒【20年度】2,800億円

営業

- 総預かり資産残高
⇒【3年間】+1.8兆円程度
- 投信残高
⇒【3年間】+1.7兆円程度(27年度末残高10兆円)
※「販売額-解約額」の3年間の累計(時価ベースとは異なる)
- 役務収支
⇒【20年度】+30%(17年度比)

運用

- リスク性資産*残高
⇒【20年度末】87兆円程度
※円金利(国債等)以外の残高(従来のサテライト・ポートフォリオ(SP)+ベース・ポートフォリオ(BP)の貸付)
- 戦略投資領域*残高
⇒【20年度末】8.5兆円程度
※従来のオルタナティブ(プライベートエクイティ(PE)、ヘッジファンド(HF)、不動産ファンド(エクイティ))+不動産ファンド(デット(ノンリコースローン、CMBS))、ダイレクトレンディングファンド

経費

- 既定経費
⇒【20年度】▲300億円(17年度比)
※消費税率引上げおよび成長分野へのリソース配分に係る経費を除く
お客さまの利便性向上、将来の収益拡大に資する、成長分野へのリソース配分も行いつつ、営業経費全体で17年度を下回ることを目指す
- 業務効率化
⇒【3年間】▲2,000人相当分
※17年度社員数(期間雇用社員含む)の約▲10%相当

株主還元

- 1株当たり配当額
⇒【3年間】年間50円確保
※今後の規制動向、利益成長や内部留保の充実等の状況によって、追加的な株主還元政策を実施することも検討

自己資本比率

- 自己資本比率
⇒確保すべき水準を10%程度に設定(金融規制強化考慮後)

2017年度
2017年4月～2018年3月

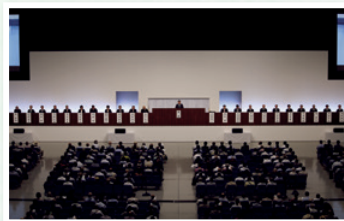
ゆうちょ銀行 TOPICS

2017年

6月

- 「投資信託取扱局」および「投資信託紹介局」の拡大を公表
- お客さま本位の業務運営に関する基本方針の公表
- 新規業務の認可取得

口座貸越サービス	地域金融機関との連携に係る業務等	市場運用関係業務
----------	------------------	----------
- 定時株主総会を横浜アリーナで開催



▲ 第11期 定時株主総会を開催



▲ 荘内銀行新本店 ATM設置

- iDeCo（個人型確定拠出年金）「ゆうちょAプラン」の手数料を引き下げ
- スマートフォン決済アプリ『PayB』の取り扱い開始
コンビニ等の払込票でのお支払いが、スマートフォン決済アプリ『PayB』に登録したゆうちょ口座から即時に可能に
- 荘内銀行新本店へのゆうちょATMの設置

9月

- 「ゆうちょ銀行ATM検索アプリ」のサービス開始



◀ ゆうちょ銀行ATM検索アプリ

10月

- iDeCoの取り扱いがゆうちょでもっと便利に
商品ラインアップ拡充 | 信託報酬引き下げ | 郵便局でもご紹介

12月

- 「ゆうちょエコ・コミュニケーション」環境保全団体への寄附
➔ 10ページで詳しくご紹介しています。

2018年

1月

- 「つみたてNISA」の取り扱い開始
- 「ゆうちょダイレクト国際送金」の開始
- イーネットATM約13,000台でゆうちょキャッシュカードのご利用手数料が一部時間帯で無料に
- 「ゆうちょダイレクト残高照会アプリ」のサービス開始
～かんたんログインで、いつでもどこでも残高照会～
- Visaプリペイドカード「mijica(ミジカ)」の機能追加



2月

- Visaプリペイドカード「mijica」のWeb申し込みを開始
全国のお客さまのmijica申し込みが可能に
- JPインベストメント株式会社の設立

3月

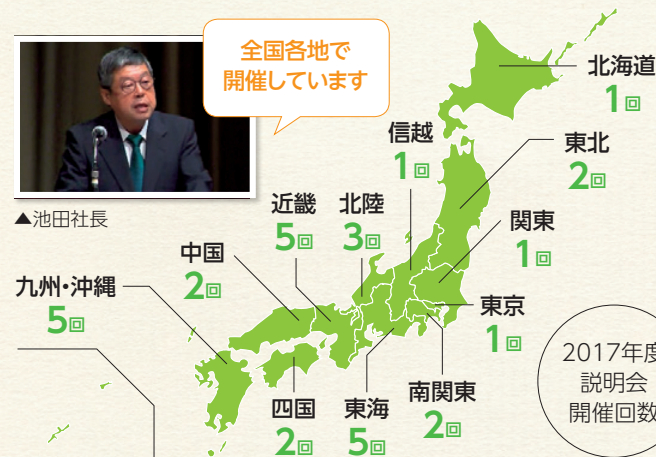
- あおぞら銀行店舗内への「ゆうちょATM」の設置に伴う契約締結
～全国初 金融機関全店舗内への「ゆうちょATM」の設置（2018年8月以降順次設置）～

個人投資家向け説明会



▲ 池田社長

全国各地で
開催しています



2017年度
説明会
開催回数

最近の説明会の資料等はゆうちょ銀行
Webサイトからご覧いただけます。

<https://www.jp-bank.japanpost.jp/>

トップページ

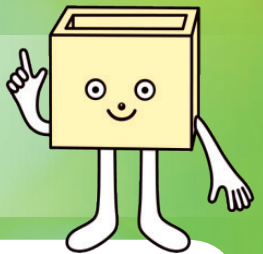
株主・投資家のみなさまへ

個人投資家のみなさまへ

個人投資家向け説明会

お客さま本位の 良質な金融サービスの提供

2018年5月に公表した中期経営計画では、「『やっぱり、ゆうちょ』と言われることを、もっと。」をスローガンに掲げ、「お客さま本位の良質な金融サービスの提供」、「運用の高度化・多様化」、「地域への資金の循環」、「経営管理態勢の強化」を2018～2020年度の方針・取り組みとしています。
これまでもお客さま本位の良質な金融サービスの提供に向けて、様々な取り組みを行っており、その一部をご紹介します。



ゆうちょ銀行 投資信託キャラクター ますますくん

■ 資産形成への貢献

■ 投信販売の拡大等

お客さまの安心な暮らしのお役に立てるよう、資産運用商品ラインアップの拡充や、お持ちの金融資産、投資経験、ライフプランなどを十分に踏まえたコンサルティング営業に取り組んでいます。

2018年1月からは、「つみたてNISA」のお取り扱いを開始いたしました。初めて投資をお考えのお客さまや、長期でコツコツと積み立てられるお客さまに、安心してご購入いただけるよう、シンプルでわかりやすく、コストも低い水準の商品を厳選しています。つみたてNISAはすべての取り扱いチャネルで1,000円からご購入いただけます。

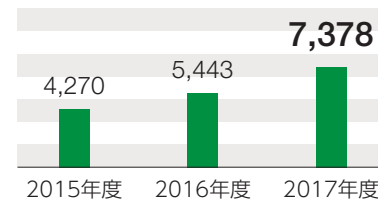
また、既存の自動積立投資について、インターネットによるご購入最低金額を5,000円から1,000円に引き下げました。

iDeCo[※]（個人型確定拠出年金）「ゆうちょAプラン」においては、2017年7月に運営管理手数料を引き下げました。さらに2017年10月には、長期の資産形成に適した商品ラインアップの拡充を行うとともに、信託報酬を引き下げました。

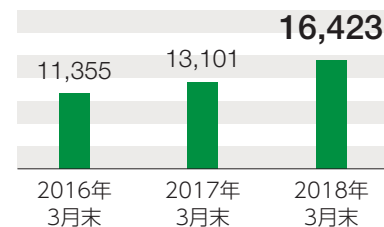
今後とも、このような取り組みなどを通じて、お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）の確立・定着に努めてまいります。

※iDeCoは、ゆうちょ銀行の直営店全店でご相談を承ります。また、全国約20,000の郵便局でご案内しています（簡易郵便局を除く）。

投資信託 販売額
(単位：億円)



投資信託 純資産残高
(単位：億円)



局数等

- 投資信託取扱局
1,416局 (2018年3月31日現在)
- 投資信託紹介局
18,298局 (2018年3月31日現在)

■ 決済サービスの充実

■ 新たな送金決済サービスの提供

毎日の生活を便利にするため、定額・定期貯金や通常貯金、年金受取・給与振込や自動払込といった、従来からのサービスもしっかりと提供することに加え、いつでもどこでも使える“新しいべんり”を提供していきます。

スマホ決済やデビットカード、mijica（ミヂカ）といったキャッシュレス決済の充実、また、商品ラインアップやチャネルの充実、ATMネットワークの拡充といった、当行の強みである安心感をベースとしたサービス展開に取り組んでまいります。

■ Visaプリペイドカード「mijica(ミヂカ)」の機能追加等 ～「mijica」がよりあなたの「ミヂカ」に!～

これまで仙台市、熊本市の一部の郵便局・ゆうちょ銀行でのみ発行していたVisaプリペイドカード「mijica（ミヂカ）」について、2018年1月以降、機能追加と発行地域の拡大等を行いました。

- ゆうちょATMでの現金チャージ・mijica残高出金機能の追加（1月）
- mijica間送金「おくってmijica」機能の追加（1月）
- 全国のお客さまにお使いいただけるようWeb申し込み開始（2月）
- 札幌市（2月）、千葉県（4月）での発行開始 等



©JAPAN POST BANK Co., Ltd. 2017

▲ mijicaオリジナルキャラクター「みじか」

CSR活動への取り組み状況



無通帳型総合口座による紙の削減・環境保全団体への寄附

無通帳型総合口座「ゆうちょダイレクト+（プラス）」のご利用が拡大することで、これまで通帳に使用していた紙や郵送していた各種お知らせの紙が削減されることなどから、口座数に応じた額を環境保全活動を地域住民とともにに行っている全国13団体へ「ゆうちょエコ・コミュニケーション」と題して寄附し、活用していただくこととしました。



▲寄附先団体での環境保全活動の紹介
～小網代の森の整備活動（神奈川県）～

Webサイトのご案内

ゆうちょ銀行のWebサイトでは、CSR活動への取り組みのほか、財務情報やIR関連情報、株式関連情報などをわかりやすくお伝えしています。ぜひアクセスしてみてください！

<https://www.jp-bank.japanpost.jp/> [トップページ](#) [株主・投資家のみなさまへ](#)

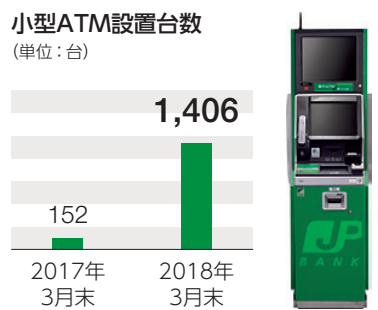
- 財務情報**
決算短信や有価証券報告書などをご覧いただけます。
- 株式関連情報**
株主還元方針や配当情報などをご覧いただけます。
- 個人投資家のみなさまへ**
ゆうちょ銀行の特徴や個人投資家向け説明会、CSR活動への取り組みなどをご覧いただけます。
- IRニュース**
最新のIR関連ニュースをご覧いただけます。
- IR関連情報**
IRカレンダーや格付情報、IR関連のお問い合わせ（よくあるご質問）などをご覧いただけます。

ATMネットワークの拡充等

ATM事業戦略

ゆうちょATMは駅やショッピングセンター等の利便性の高い場所などへ戦略的に配置しています。

2017年1月以降、16言語対応*の機能を備えた小型ATMを導入し、全国のファミリーマート店舗等への設置を進めています。この小型ATMは、海外で発行されたクレジットカード等で「日本円」を引き出すことが可能なほか、国内約1,400社の提携金融機関カードでも利用が可能です。



*日本語・英語・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）・韓国語・タイ語・マレーシア語・フィリピン語・インドネシア語・ベトナム語・フランス語・ドイツ語・ポルトガル語・スペイン語・ロシア語・アラビア語に対応（海外発行カード利用時に限る）。

イーネットとゆうちょ銀行が業務提携

全国のファミリーマートを中心に設置されているイーネットATMにおいて、2018年1月15日より、ゆうちょ銀行のキャッシュカードのご利用手数料（キャッシュカードによる預入、払戻し）が、平日の日中及び土曜日の一部時間帯で無料となりました。

ゆうちょ銀行以外のATMで手数料が無料となることは初めてです。

【ご利用時間・ご利用手数料】

		0:05	8:45	9:00	14:00	18:00	23:55
預入・払戻し	平日	216円	無料	無料	無料	216円	216円
	土曜日	216円	無料	無料	無料	216円	216円
	日曜日・休日	216円					

*ご利用料金等の詳細はゆうちょ銀行Webサイト等をご確認ください。



決算ハイライト

決算の概要 (単体)

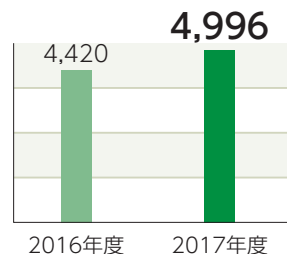
- ☑ 当期純利益は3,527億円となり、通期業績予想の3,500億円に対し100.7%の達成率
- ☑ 2017年度の1株当たりの配当額は50円 (うち、中間配当は25円)
- ☑ 資産は外国証券等を中心に有価証券残高が増加、負債は貯金残高が安定的に推移

ポイント解説

Point 1

経常利益 (単体)

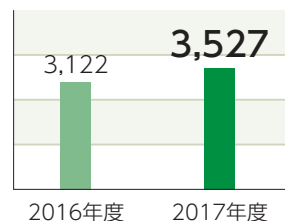
(単位: 億円)



Point 2

当期純利益 (単体)

(単位: 億円)



金利が低位で推移するなど厳しい経営環境下にあるものの、経常利益は、前年度比575億円増加の4,996億円となりました。また、当期純利益は、前年度比404億円増加の3,527億円となりました。

当行は、2017年度より連結財務諸表を作成しています。

損益の状況 (単体)

業務粗利益	
資金利益	
役務取引等利益	
その他業務利益	
うち外国為替売買損益	
うち国債等債券損益	
経費 (注)	
一般貸倒引当金繰入額	
業務純益	
臨時損益	
うち金銭の信託運用損益	

Point 1 経常利益

Point 2 当期純利益

注: 臨時処理分を除く。

財産の状況 (単体)

Point 3 資産	
うち有価証券	
うち貸出金	
負債	
うち貯金	
純資産	
株主資本	
評価・換算差額等	

(単位: 億円)

	2016年度	2017年度
業務粗利益	14,102	14,623
資金利益	12,235	11,756
役務取引等利益	866	964
その他業務利益	1,000	1,902
うち外国為替売買損益	993	1,949
うち国債等債券損益	△24	△64
経費 (注)	10,561	10,450
一般貸倒引当金繰入額	△0	0
業務純益	3,540	4,173
臨時損益	879	823
うち金銭の信託運用損益	829	509
経常利益	4,420	4,996
当期純利益	3,122	3,527

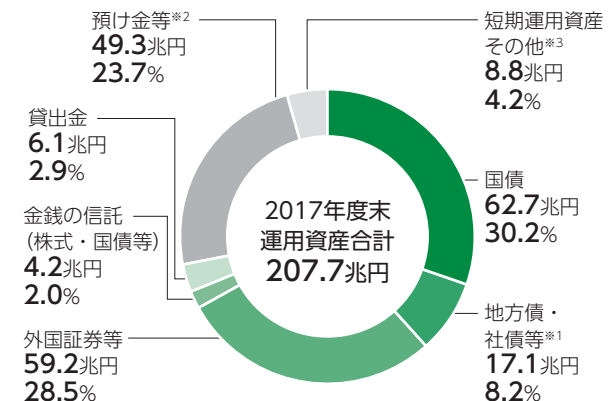
(単位: 億円)

	2016年度末	2017年度末
資産	2,095,688	2,106,306
うち有価証券	1,387,924	1,392,012
うち貸出金	40,641	61,455
負債	1,977,887	1,991,174
うち貯金	1,794,346	1,798,827
純資産	117,800	115,131
株主資本	87,296	88,945
評価・換算差額等	30,504	26,185

金額および比率は、表示単位未満を切り捨てて記載しています。

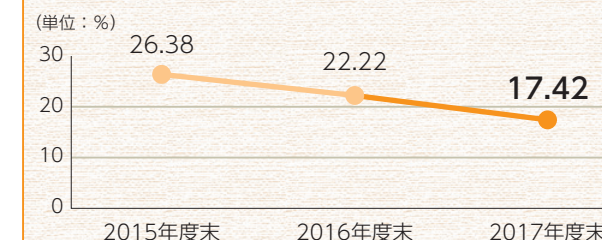
Point 3 運用資産 (単体)

資産のうち、運用資産の状況は次のとおりです。



*1 「地方債・社債等」は地方債、短期社債、社債、株式。
*2 「預け金等」は譲渡性預け金、日銀預け金、買入金銭債権。
*3 「短期運用資産・その他」はコールローン、債券貸借取引支払保証金等。

単体自己資本比率 (国内基準) の推移



用語解説

自己資本比率

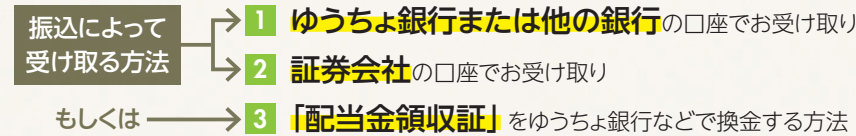
銀行が保有する資産などに対する自己資本の割合であり、金融機関の経営の健全性を示す指標のひとつです。当行のように海外営業拠点を有しない国内基準の対象となる銀行は4%以上の水準であることが求められています。

株主スクエア

Q&A このコーナーでは株主さまからよくいただく質問についてご紹介いたします。

Q ゆうちょ銀行の配当金の受け取り方法について教えてください。

A 配当金の受け取り方法には、**1 ゆうちょ銀行または他の銀行の口座への振込**
2 証券会社の口座への振込 **3 「配当金領収証」**の3つがあります。



Q 配当金をゆうちょ銀行または他の銀行の口座への振込によって受け取るためには、どのような手続きが必要ですか。

A ゆうちょ銀行または他の銀行の口座への振込による配当金のお受け取りを希望される場合は、お取引のある証券会社等までお申し出ください。

株主メモ

証券コード	7182
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
1単元の株式数	100株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	毎年3月31日及び中間配当を行うときは毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

主な手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 配当金受領方法の指定のお手続き ● 住所・氏名変更等のお手続き ● 単元未満株式の買取・買増請求のお手続き ● 相続のお手続き 	口座を開設されている証券会社等
<ul style="list-style-type: none"> ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 各種証明書の発行に関するお手続き ● その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-581-841 (フリーダイヤル) (受付時間 土・日・祝祭日を除く午前9時～午後5時)

会社・株式情報

会社概要 (2018年3月31日現在)

名称	株式会社ゆうちょ銀行
設立年月日	2006年9月1日 ※2007年10月1日に「株式会社ゆうちょ」から「株式会社ゆうちょ銀行」に商号変更
本社所在地	〒100-8798 東京都千代田区霞が関一丁目3番2号
資本金	35,000億円
従業員数	13,009名 ^注
主な事業所	本社、営業所234

(注) 従業員数は、当行から他社への出向者を除き、他社から当行への出向者を含んでいます。また、臨時従業員（無期転換制度に基づく無期雇用転換者（アソシエイト社員）を含む）は含んでいません。

取締役 (2018年6月19日現在)

取締役兼代表執行役社長	いけ だ のり と 池 田 憲 人
取締役兼代表執行役副社長	た な か すむ 進 田 中 すすむ
取締役	なが と まさ つぐ 貴 長 門 正 貴
取締役	なか ざと りょう いち 中 里 良 一
社外取締役	あり た と も よし 徳 有 田 知 徳
社外取締役	の 野 ほら さわ こ 野 原 佐和子
社外取締役	まち だ てつ 徹 町 田 てつ 徹
社外取締役	あか し のぶ こ 明 石 伸 子
社外取締役	いけ だ かつ あき 朗 池 田 克 朗
社外取締役	の 野 もと ひろ ふみ 文 野 本 弘 文
社外取締役	ちゅう ぼち りょう じ 治 中 鉢 良 治

株式の状況^注 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	18,000,000千株
発行済株式総数	3,749,475千株 (自己株式750,524千株を除く。)
株主数	477,500名

大株主の状況^注 (2018年3月31日現在)

株主名	持株総数(千株)	持株比率(%)
日本郵政株式会社	3,337,032	88.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	23,294	0.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,563	0.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	10,680	0.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	8,342	0.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	7,997	0.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	7,901	0.21
ゆうちょ銀行社員持株会	7,196	0.19
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	7,063	0.18
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	6,301	0.16

(注) 1. 持株数等は、単位未満を切り捨てて表示しています。持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
2. 持株比率については、自己株式(750,524千株)を除いて算出しています。なお、自己株式には株式給付信託が保有する当行株式(544千株)を含めていません。



配当について

2017年度1株当たり配当金

50円 (配当性向 (実績) **53.1%**)

2018年度予想1株当たり配当金

25円 + 25円 = 50円 (配当性向 (予想) **72.0%**注)

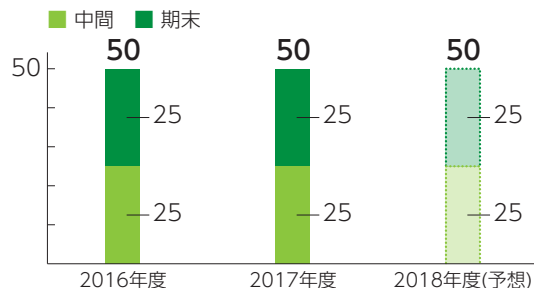
■ 中間 ■ 期末 ■ 通期

株主還元方針 (2020年度末まで)

- 1株当たり配当金50円(年間)を確保
- 安定的な1株当たり配当を目指す
- 今後の規制動向、利益成長や内部留保の充実等の状況により、追加的な株主還元政策を実施することも検討

注：配当性向(予想)は、2018年度の予想1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益金額と2018年度の普通株式に係る予想1株当たり配当額より算出

1株当たり配当金の推移 (単位：円)



株式会社 ゆうちょ銀行

〒100-8798 東京都千代田区霞が関一丁目3番2号

